

商経 機械新聞

THE KIKAI SHIMBUN

昭和23年4月24日第三種郵便物認可

2015年(平成27年)3月26日

木曜日

< 2 >

次世代切削アピール

3社
コラボ 滝澤・トクピ・タンガ

12・13日に開催され

た東陽(本社・愛知県刈谷市)主催の展示会

「東陽E-monoフェア」で、滝澤鉄工所、

トクピ製作所、タンガ

ロイの3社がコラボして次世代切削を提案し

注目を集めた。



滝澤鉄工所のコンパクト&パワーCNC旋盤「TCN-2000」

と、トクピ製作所の超

高圧クーラントユニット、タンガロイの切屑

分断システム付ホルダで構成されたシステムで次世代切削を提



「東陽E-monoフェア」で提案された次世代切削法

案。滝澤製「TCN-2000」は、一部高耐圧仕様とし、タンガロイの切屑分断システム

付ホルダで刃先に確実に高圧クーラントを噴出する。クーラント圧は最大30MPaまで可能だ。

なお、トクピ製作所

(大阪府八尾市、社長森合主税氏)の次世代

切削法「ハイプレッシャーブレーカー(HPB)

」は、7~30MPaの超

高圧クーラントを工具刃先に噴射することで切屑を分断、切削加工の効率アップと

工具の長寿命化を図るとい

うもの。これまで切削加工が困難だった

インコネルや Hastelloy、ステライトなどの

難削材にも威力を発揮するとい

う。こうした特徴から超

高圧クーラントを用いた切削加工法は着実に

支持を広げ、既に大手切削工具メーカーや工

作機械メーカーが導入。切削加工の効率化

・時短化・省コスト化に向けた取り組みを行っている。